

平成23年5月10日
(社)日本照明器具工業会

「東北地方太平洋沖地震」による照明器具の事故防止について ～高所取付照明器具の落下・感電事故防止～

平成23年3月11日に発生しました「東北地方太平洋沖地震」により、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

今回の想定外の大震災・続く余震で、特に高所に取り付けている照明器具は大きく揺れ、相当ダメージを受けている事が想定されます。照明器具がもし落下するようなことがあれば、重大事故につながります。照明器具による落下及び感電事故防止のため、下記の安全点検の実施をお願いします。

1. 電源復旧時における照明器具の対応について（照明全般の注意喚起）

- 照明器具の外観に異常がないか確認してください。
- 電源コード、プラグに傷や折れがないか確認してください。
- 水に浸った照明器具は使用しないでください。




＊) H23年3月16日 製品安全センター nite
災害時の製品事故の防止について（注意喚起）
～電気製品の火災事故防止～ より抜粋

2. 「高所取付照明器具」の落下の原因となる安全点検項目について

- 器具が落下するようなことがあれば、重大事故につながります
最低限、器具落下の原因となる項目は点検してください。

安全チェックシート（1）

安全チェックシート（１）・・・器具落下の原因となる安全点検項目

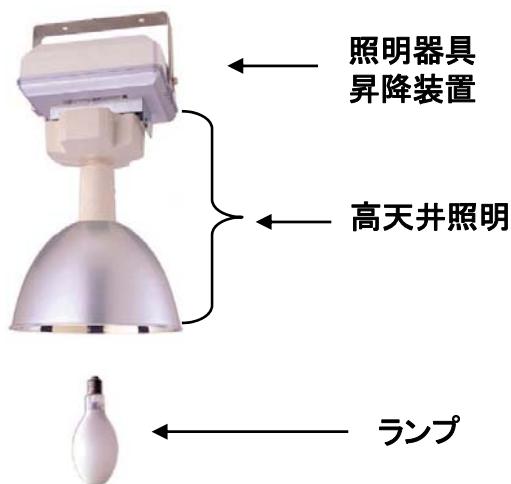
		重点点検項目
街路灯		<ul style="list-style-type: none"> ①ポールに著しい傾き、曲がり、変形が無い ②照明器具取付部のボルト、ナットの緩みが無い 溶接部等にクラックが無い ③照明器具に変形、破損等無い ④カバーにひび割れ、破損が無い
高天井照明		<ul style="list-style-type: none"> ①照明器具が傾くなど、異常な取り付け状態となっていないか ②照明器具取付部のボルト、ナットの緩みが無い 溶接部等にクラックが無い ③照明器具に変形、破損等無い ④カバーにひび割れ、破損が無い
昇降装置		次ページによる

点検して、異常が認められた時には人が近づかないように隔離し、必ず専門業者による診断を受けてください。

照明器具昇降装置

昇降装置、照明器具及びその固定部に変形、破損等がないか。

昇降装置のワイヤ、ベルトに破損がないか。(傷、素線のほつれ、断線)



照明器具昇降装置の安全点検項目

<安全点検時の注意事項> ・昇降装置動作時には、直下に人が近づかないこと
 ・昇降装置を動作する前には、必ずランプ回路の電源をOFFすること

<p>設置状態の点検</p>	<p>①昇降装置、照明器具及び建築の固定部(梁など)に変形、破損がないか？ ②昇降装置・照明器具に傾きがないか？</p>
<p>昇降装置を動作させての点検 [昇降部・照明器具の状態確認]</p>	<p>①下降スイッチをONにして、床まで降ろし、以下の点検を行う。 ・動作中にモーター音に異常が生じていないか？ [照明器具の点検] ・部品の外れ、破損、変形がないか？ ・ねじの緩み、外れがないか？ ・ランプに緩みがないか？ 破損した部品が、照明器具の上に載っている場合があります。 [昇降部の点検(ワイヤ、ベルト)] ・傷、折れ目、キンク(曲がりくせ)、素線のほつれ、断線がないか？</p> <p>②上昇スイッチをONにして、天井まで上げ、以下の点検を行う。 ・ランプ回路の電源をONでランプが正常に点灯するか？ 点灯しない時、昇降装置が正常位置に嵌合していない可能性が有ります。 ・動作中にモーター音に異常が生じていないか？</p>

(注)点検して、異常が認められた時には人が近づかないように隔離し、必ず専門業者による診断を受けて下さい。